

# 登校禁止期間の延長に際して

～ピンチをチャンスに変えて、この経験を財産に～

2020年4月28日 21時

山口です。学校の公式ホームページですでに発表されました通り、現時点では、8月7日（金）まで登校禁止期間が延長になり、その期間はICTを活用した遠隔授業を行うこととなりました。

日本だけではなく、世界で今までに経験したことのない非常事態の中、学生の皆さん、そして保護者の方の不安や心配もさぞかし大きいことだと思います。しかし、見通しのつかない社会情勢の中で、それでも私たちが今、すべきことは、足元の行動( act locally )としての Stay Home and Study Hard. です。

そこで、1年生の皆さんに、Stay Home and Study Hard.の中で、守っていただきたいことがあります。

- 1) 学校（担任や教科担当）からの連絡や指示は、原則として Office365(Outlook)のメールで皆さんに届きます。常々のメールの確認をお願いします。
- 2) 先生からの指示や依頼には、必ず反応し、行動に移してください。例えば、「Teamsにこの時刻に参加してください。」と指示があったら参加してください。事前にメールで連絡が行くはずですが、また担任や担当の先生から個人への連絡メールを受け取ったら、放って置かないで、必ず返事のメールをして、指示の内容に従ってください。返事をすることは、社会人として、またマナーとしても必須です。ただ、1年生は、パソコン操作にも遠隔授業のシステムにも慣れていないので、最初のうちは、できないことがあっても、あまり不安にならないでください。突然、欠課をつけたりしませんし、提出忘れがあっても、先生がお知らせしていきます。焦らず、徐々に（でも頑張って）パソコンやシステムの操作に慣れていきましょう。
- 3) わからないことや、困った時は、必ず相談する力を身につけてください。津山高専生として大切な能力の一つは、「担当の先生の研究室のドアをノックして、質問や相談をする力」です。今は遠隔授業ですので、代わりとして、メールや電話、またはチャット機能などを使って、自分の力で質問する・相談することです。わからないことは恥ずかしことではありません。わからないことをわからないままにしておくことが問

題なのです。遠慮なく質問・相談してください。もちろん、先生にだけではなく、友達に質問するのは、とても大切です。

- 4) 横のつながりを作りましょう。ネットの便利なところは、会わなくてもつながれるということです。先生に聞きにくいことは、仲間に聞きましょう。お互い情報を共有して、抜けや、うっかりミスを防ぎましょう。はじめは、同じ中学校出身者がいる人は、そこで情報共有するのも良いでしょう。各クラスでホームルームをネット上で開設しますので、その中で新たなつながりを作りましょう。今まで引っ込み思案だった人も、ネットだったら大丈夫かもしれません。チャットではマナーや個人情報を守ることを大切に、クラス内でどんどん横のつながりを作っていきます。

普通に考えると今の状況は、学校にとっては最大のピンチです。しかし、先生たちは遠隔授業だからこそできる教材を工夫して作り始めています。津山高専にある ICT のシステムを使ってどんなことができるのか、これからも頑張って研究して教材を作っていきます。皆さんも、それに頑張ってお応えてくれなくてはなりません。

皆さんにとっては、学習上、デメリットだけではなく、メリットも大きいはず。繰り返し学習ができたり、自分のペースで勉強できたり、先生が個々の質問に丁寧に答えられたり、考え方、やり方次第で効果や成果も変わります。しかし、平時以上に、学生の皆さんには自律が必要です。



家での机で居眠りをしても、誰もあなたを起こしてあげることはできません。自分で計画的に学習して行くことが必要です。戦うべき相手が、自分自身の弱さとなります。ですから遠隔授業は、先生たちと皆さんで、しっかり自律して、新たに作り上げていく授業になります。

このピンチを乗り越えたら、先生たちにも皆さんにも、今まで経験したことのない財産ができるはず。それを信じて、お互い頑張ってください。

※課題テストは、各自で 50 分を測り早めにやっておいてください。解答用紙は休講明けまで保管し、登校が再開されたら忘れず持参してください。

#### 保護者の方へのお願い

- お困りのことやご意見、またはお子さんの頑張りなど、遠慮なくお知らせください。皆様のご意見が、私たちの取り組みに役立ちます。よろしくご理解、ご協力をお願いいたします。